

日常生活と水・生活文化と水

Q. 思い出に残る「水遊び」は、何歳頃、どこで、何をしたことですか？

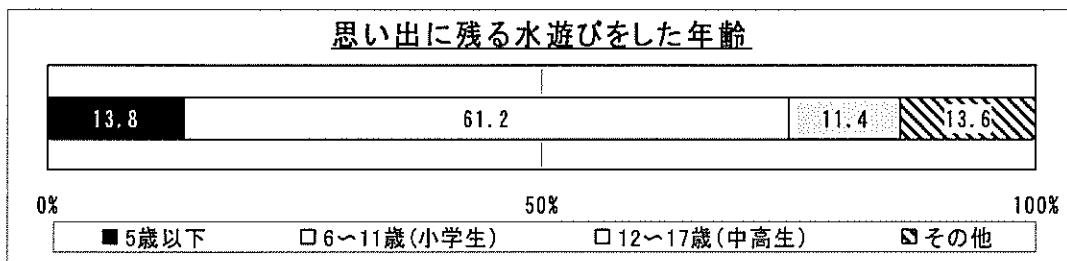
◇『小学校の頃』(61.2%)、『海で』(42.7%)、『水泳をした』(30.6%) 思い出

思い出に残っている印象深い「水遊び」または「水辺での遊び」について、何歳の頃、どこで、どのような種類の遊びをしたかを聞きました。

年齢については約6割が『6～11歳(小学時代)』としており、思い出の「水遊び」の場所は『海』(42.7%)が1位でした。また「水遊び」の種類については、『水泳』(30.6%)、『ザリガニ、めだか等の小魚とり』(18.3%)、『行水・水浴び』(8.7%)がトップ3でした。

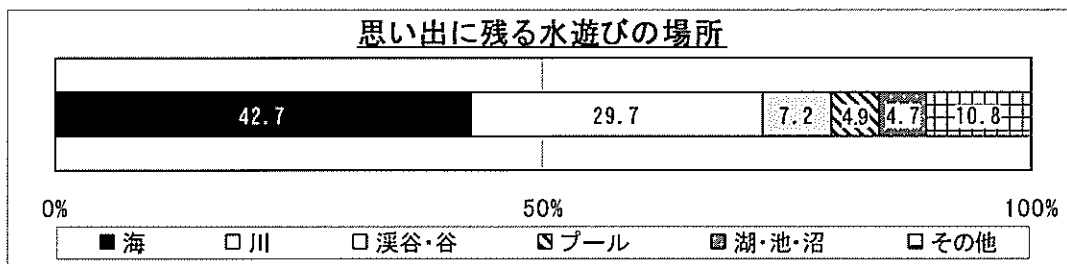
■何歳頃の思い出か？(年齢を記入)

61.2%が『6～11歳』の頃と答え、『5歳以下』が13.8%で続きました。



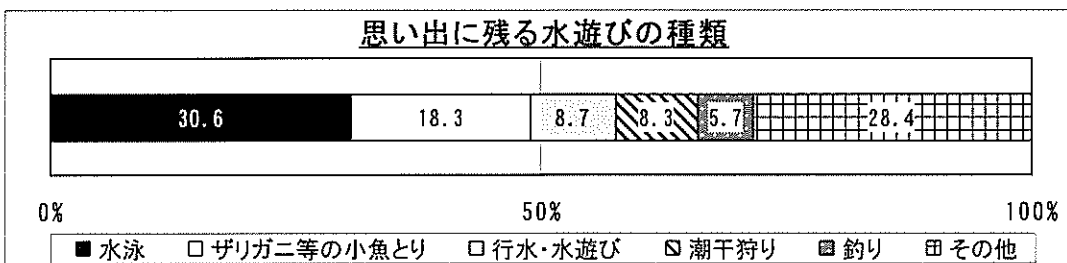
■どこで体験した思い出か？(14 択+その他)

『海』が42.7%でトップ。以下『川』(29.7%)、『渓谷・滝』(7.2%)、『プール』(4.9%)、『湖・池・沼』(4.7%)と続きました。



■どんな「水遊び」をした思い出か？(17 択+その他)

トップの『水泳』(30.6%)以下、『ザリガニ、めだか等の小魚とり』(18.3%)、『行水・水浴び』(8.7%)など続きました。



Q. 思い出の「水遊び」を最近しましたか？ (n=466)

Q. 自分の子供(孫)にその「水遊び」を体験させたいと思いますか？

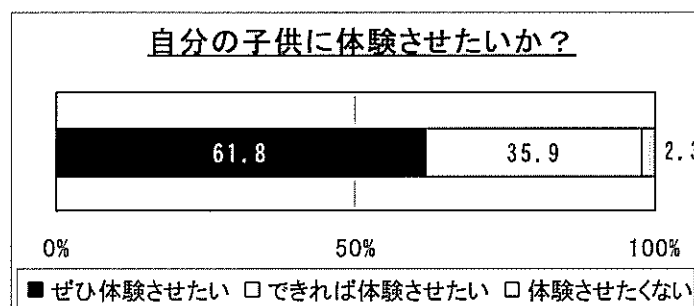
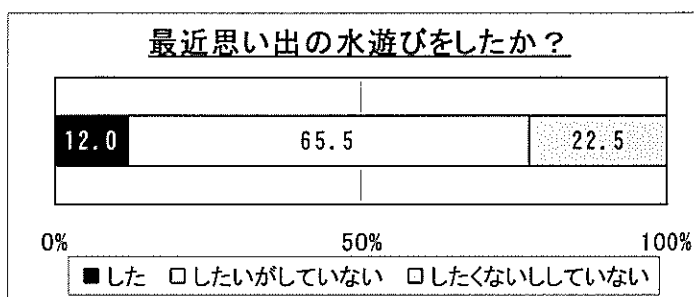
◇65.5%が思い出の「水遊び」を『したいが、していない』

◇自分の子供にも『是非(体験)させたい』が6割強

前問の「思い出に残る水遊び」について、「最近、その遊びをしたか?」、「その遊びを自分の子供や孫(いない方の場合はいと仮定して)に体験させたいと思うか?」の2点について答えてもらいました。

「最近したか?」については、『したいが、していない』(65.5%)が大多数を占め、実際に『した』のは1割強にとどまりました。

「子供に体験させたいか?」については、6割強が『是非させたい』と回答、『させたくない』はわずか2.3%でした。



Q. あなたは海・川・湖などプール以外で泳いだことはありますか？

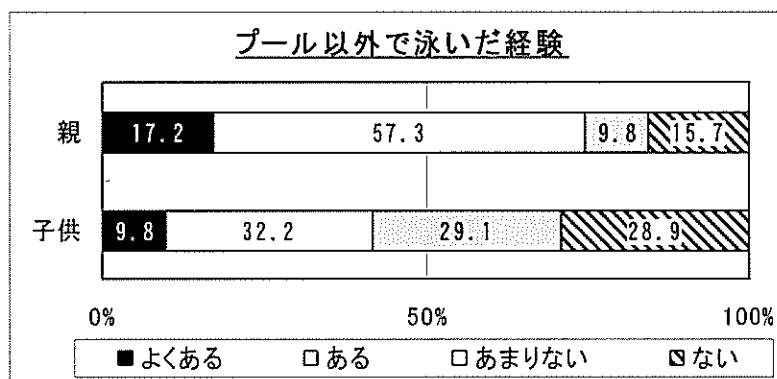
Q. あなたの子供(孫)はどうですか？ (子供・孫がいる人だけ回答/n=336)

◇子供の58%が『プール以外ではほとんど泳いだことがない』

本人(大人)と自分の子供(孫)について、自然の海・川・湖で泳いだ経験を聞きました。

本人の場合は、74.5%が『よくある』または『ある』としていますが、自分の子供(孫)については『ない』が約3割。

『あまりない』(29.1%)と合わせると6割近い(58.0%)子供が、自然の水ではほとんど泳いだことがないという結果になりました。

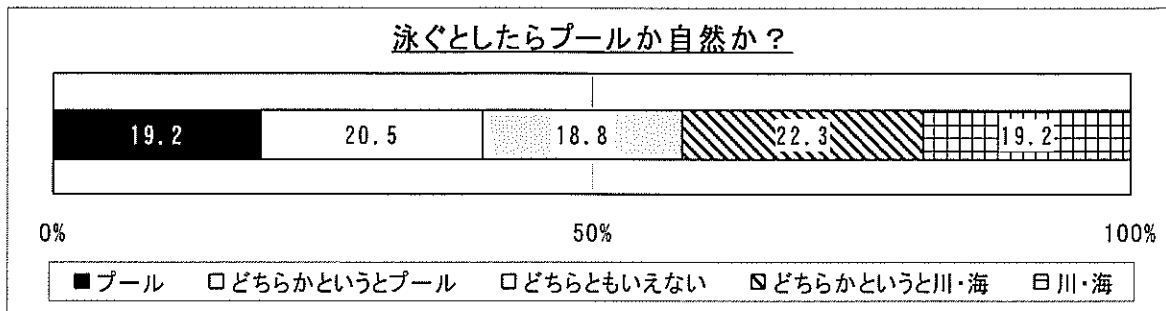


Q. 泳ぐとしたら「清潔なプール」か「自然の川・海」のどちらがよいですか？

◇“自然派”(41.5%)と“プール派”(39.7%)がほぼ拮抗

前問の通り、自然の水で泳いだことのない子供が過半数に達する中、実際に泳ぐとしたら海や川とプールでは、どちらが好まれるのでしょうか。

“自然派”(『自然の海や川がよい』と『どちらかというと海や川がよい』の合計)が41.5%、
“プール派”(『清潔なプール』と『どちらかというとプールがよい』の合計)が39.7%で、ほぼ拮抗しているという結果でした。

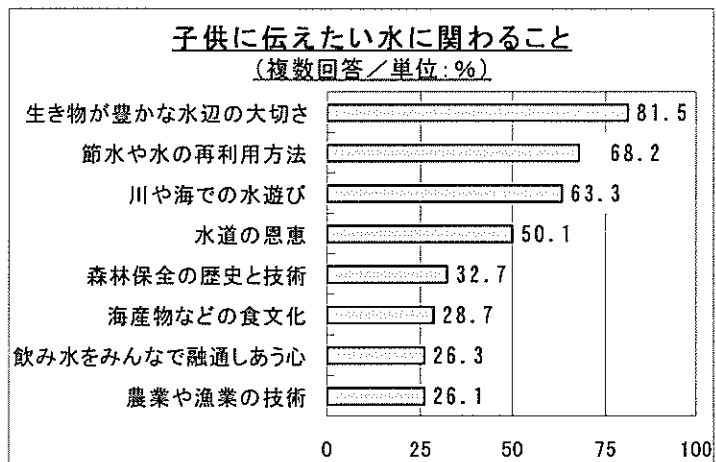


Q. 水にかかわることで、子供に伝えたいと思うことは？ (10 択 + その他)

◇もっとも子供に伝えたいことは『生き物が豊かな水辺の大切さ』

「水遊び」に限らず、水に係わるあらゆることで、子供に伝えたいことを聞きました。

トップは『生き物が豊かな水辺の大切さ』で 8 割強。以下『節水や水の再利用方法』(68.2%)、『川や海での水遊び』(63.3%)、『水道の恩恵』(50.1%)までが過半数に達しました。

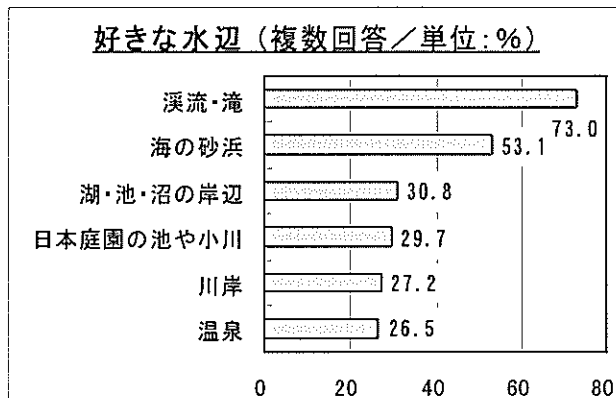


Q. あなたが好きな水辺は？

(15 択 + その他)

◇都会人の人気トップは『溪流・滝』

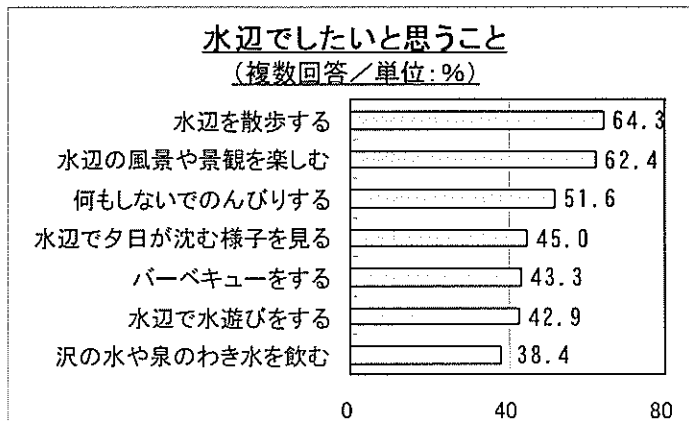
都会人にとっては、身近な存在ではなくなった水辺が 1 位・2 位を占めました。まず『溪流・滝』(73.0%) が 7 割強で圧倒的なトップ。『海の砂浜』(53.1%) も半数を超えました。



Q. 水辺でやってみたいことは？ (20 択 + その他)

◇トップ 3 は『散歩』『風景や景観を楽しむ』『何もしないでのんびり』

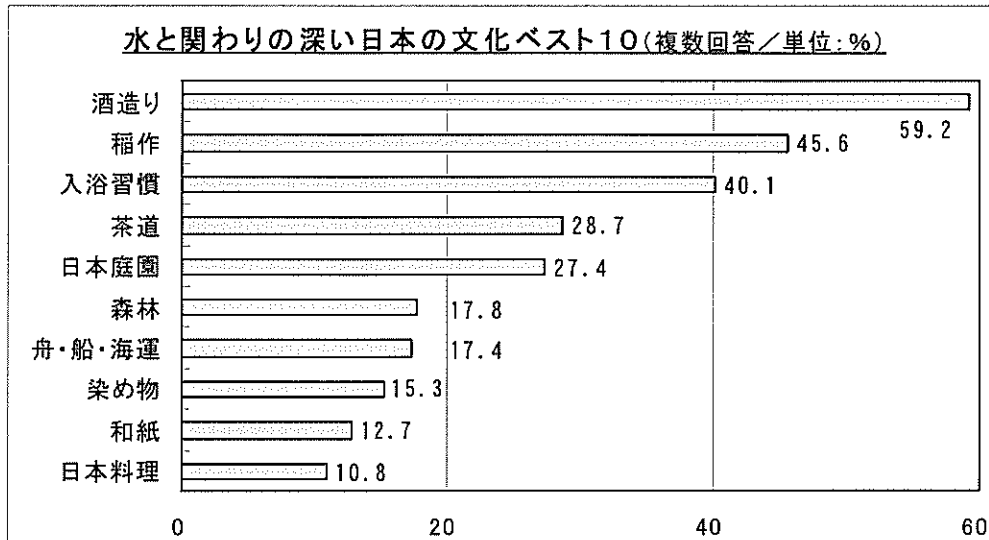
トップ 3 の『水辺を散歩する』(64.3%)、『水辺の風景や景観を楽しむ』(62.4%)、『何もしないでのんびりする』(51.6%) が過半数に達しました。回答上位を見ると、大都市生活者が水辺に求めているのは、やすらぎや癒しであることがわかります。



Q. 水とかかわりの深い日本文化といえば？ (19 択+その他/複数回答)

◇トップ3は『酒造り』『稲作』『入浴習慣』

昨年と同様、1位『酒造り』(59.2%)、2位『稲作』(45.6%)、3位『入浴習慣』(40.1%)でした。



Q. 「水の都」のイメージにもっとも近い都市は？ (自由回答)

◇東京圏は『京都』、大阪圏は『大阪』、中京圏は『郡上八幡』をイメージ

水の都という言葉のイメージにもっとも近い日本の都市を挙げてもらいましたが、回答が分散する傾向にありました。

全体のトップの『大阪』で 12.7%。居住地別では、東京圏が『京都』、大阪圏が『大阪』、中京圏が『郡上八幡』でした。

「水の都」のイメージの都市トップ5

	全 体 (n=471)		東京圏 (n=224)		大阪圏 (n=121)		中京圏 (n=126)	
1	大 阪	12.7%	京 都	11.2%	大 阪	37.2%	郡上八幡	14.3%
2	京 都	11.7%	仙 台	7.1%	京 都	10.7%	京 都	13.5%
3	仙 台	5.1%	大 阪	4.9%	滋 賀	8.3%	大 垣	10.3%
4	郡上八幡	4.9%	潮 来	3.6%	仙 台 大 津	3.3%	飛驒高山	4.8%
5	滋 賀	3.8%	長 野 南アルプス	3.1%			滋 賀	4.0%